



学校だより 10月号

令和7年9月30日発行

ふるさとに学び ふるさとで遊び ふるさとを愛する子 ～ふれあいがやき豊かな心～

自分の身は自分で守る

校長 杉山 波也

いつまで続くのかと心配していた暑さですが、このところはだいぶ秋らしくなり、朝晩は一枚羽織りたくなるくらいの涼しさとなってきました。つい先日までは、職員室前に設置してある暑さ指数計（WBGT計）をこまめに確認しながらの毎日でしたが、数値は「ほぼ安全」を示すことも多くなり、そのおかげで指数計とにらめっこする回数は減ってきました。10月18日（土）のかもリンピックへ向けて、この先も少しでも体を動かしやすい、活動がしやすい、そんな環境が続いていくことを願いながら、子どもたちの頑張る姿を応援していきたいと思えます。

学校では、火災や地震などの災害が起きたときに、安全に避難したり、自分の身を守ったりできるよう、避難訓練を計画的に行っています。夏休みが明けてすぐの9月1日、「防災の日」には、大規模地震を想定した避難訓練を行いました。大きな地震が起こり、「校舎内で通ることができない場所がある」「放送機器が使用できない」等、様々な設定を行ったうえで、どのように避難したらよいのか子どもと一緒に確認しました。（実際に校庭まで避難する予定でしたが、暑さ指数を鑑み、校舎内での避難訓練のみとしました）また、訓練後には、「家の中での安全」「場に合った身の守り方」「津波からの避難」等、各学年に応じた防災教育も行いました。私は避難訓練の終わりに、「先生たちは、みなさんの命を守ることを一番に考えます。でも、みなさんが先生たちに任せっきりだと、安全に避難するのが難しいときがあるかもしれません。だから、みなさんも自分の身は自分で守るという気持ちをもって、少しでも安全に避難できるように一緒に訓練に取り組んでいきましょう。」というようなことを話しています。鴨志田緑小の子どもたちは、毎回の避難訓練にしっかりと取り組み、我々の話に耳を傾けてくれます。その真剣な姿に毎回感心させられます。災害はいつ、どこで起こるかわかりません。「自分の身は自分で守る」この意識をこれからももち続けていけるように、毎回の避難訓練の時間を大切にしていきたいと思えます。

9月11日には、青葉警察署のスクールサポーターの方をお招きして、不審者侵入対応訓練を行いました。その中で、まちの中などで起こる犯罪等の危険から回避できるよう、防犯に対する意識を高めるための標語「おおだこポリス」についての話がありました。

「**お**…**お**うちの人に行ってきます **お**…**お**友達と遊ぼうね **だ**…**だ**まされてついていけない **こ**…**こ**わくなったら大声で」

学校でも折に触れ指導していきますが、ご家庭でも放課後の過ごし方等、防犯についてお子さんと話題にさせていただきますようよろしくお願いします。